



第59号

# ぽっかぽか

図南病院新豊部



## 一味同心

### ● 焼酎ソーダ割りが美味しい ●

新年が明けて3日の夜、いつものように居間で夕食を取りながらニュース番組を見ていると、今後の抱負を語る新成人のインタビュー映像が流れていました。そこには「人のために何か役に立つ事がしたい」と語る若者が多くいて、何か少し安心したような心地になり、いつもの焼酎ソーダ割りがより美味しく感じたことでした。



院長  
高野 篤

### ● 人のために ●

幸い私たち医療職は「人のために何か役に立つ事がしたい」という思いを実践できる仕事をさせていただいております。患者さんの笑顔に触れた時や感謝の言葉をいただいた時には、やっけて良かったなどという充足感が得られる職種ですが、困難な事も多くあります。



### ● 自分が健やかであること ●

人の為に何かをしようとする時、自身がまず健やかであることが重要な要素です。職員の皆さんには、自分自身が健やかに過ごせているか、心や体の栄養が足りているのか、そういったことにも注意を払いながら良いパフォーマンスをして欲しいと思っています。院長としても、職員が少しでも健やかで楽しく働ける職場作りをしていきたい、そしてそれが患者さんの満足に繋がる、という良いサイクルが続くよう努力していく所存です。

### ● 盆と正月が一度にやってくる ●

2022年度は、当院にとってクリアしなければならぬ大きなイベントが目白押しです。まだまだ終息の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染対策に加え、「病院機能評価の受審」「電子カルテ導入」という盆と正月が一度にやってくる状況です。日常業務に加えての業務となり、日々皆さんが忙しくしている状況を考えると、乗り切れるのか…と一抹の不安を感じるところではあります。

## エイエイオー



が、それでも、この立て続けにやってくる大きな波を乗り越えた先には、少々の波にも動じない強い土台とチームワークが出来ていると信じています。

### ■病院理念

1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。

### ■病院基本方針

1. 我々は病気 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
4. 我々は個人の尊重を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。



# 新型コロナウイルスと感染対策

医療安全対策室  
リスクマネージャー 宮下

## ◆身を守る事ができない

新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり、1年以上が経過しました。この間、世界中が大きく動揺し混乱。私たちが医療の領域でも個人防護具と言われる手袋・マスク・エプロンなどが、急速な需要増加と生産の激減。本来単回使用の物も再使用したり、身を守ることが十分に出来ない状況が続きま

## ◆消毒薬に対しての抵抗性は高くない

新型コロナウイルス(SRRARS-Cov-2)は、人から人への密接な接触によって広がると考えられており、紙やティッシュペーパー等であれば30分程度、ステンレスやプラスチックなど材質によれば約4日間生存しているとも言われています。しかし消毒薬に対しての抵抗性は高くないので熱水、アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなどで不活化させることが可能で、特別な薬剤を使用する必要はありません。

## ◆ユニバーサルマスキング

外出時、屋外での活動では感染リスクが低く、相手との距離が確保されて

いれば、必ずしもマスクの着用は必要ないかもしれませんが、マスクを着用せずに、近い距離で会話をすれば感染はするため、感染経路に配慮し日常に行っている対策は続ける必要はあります。症状の有無に限らず、自身が感染源とならないため、すべての人が公共の場においてマスクを着用する「ユニバーサルマスキング」が推奨されています。

## ◆必要時PCRや抗原検査

当院での感染対策としては、県内や全国的な感染の状況により、感染制御チームで話し合い対応を変更、ホームページへもお知らせとして面会状況などの情報の更新を行っています。県外は特に流行地域などから来院するご家族の面会は原則的にご遠慮頂いていますが、必要がある場合はPCRや抗原検査等で陰性を確認して来院頂くことに対応しています。

職員も行動制限があり県外移動は届出制で、発熱外来や感染が疑われる病室を担当するスタッフは、勤務中は状況に心じ常に防護具を着用、毎日朝夕の体温測定や体調管理と健康チェックを行うなど、現場のスタッフは毎日ス

トレスと戦っています。それも、患者さまとご家族はもちろん、自身や自身家族も守るといふ大切な責務があるから行えることです。

## ◆常に変異

現在の新型コロナウイルスは、カッパ、ミュー、デルタ、オミクロンなど世界中で常に変異体が発生、変異体の伝播性が上昇すると、感染は一気に広まります。治療薬にはウイルスを直接抑える抗ウイルス薬とウイルスが感染した後の炎症を抑える抗炎症薬の2種類があります。現在開発されている治療薬が承認され、経口薬が使えるようになれば、少しは状況が変わるかも知れません。

## ◆基本的な感染対策を

しかし、「予防に勝る治療なし」です。まず、感染しない事が一番で、しっかりとした感染対策(三密回避・マスクの正しい着用・ソーシャルディスタンスをとる・手洗い)の徹底、打てる人はワクチン接種を行うなど、基本的な感染対策を続けることが重要です。



## 宮下さんちのめろん: MIXキジトラ、おはぎ: スコティッシュフォールド



# うちのきまぐら

Uchinoko Jiman

図南

ぽ  
っ  
か

自  
慢

### 彼女が髪を切った理由

真夏の暑い季節が過ぎたころ、彼女は長い髪をバツサリと切り出勤してきた。

女性に迂闊に理由を聞けない昨今、私は彼女が同僚と楽しげに話す声に集中。「やっと、切った。結構かかったあ」話の内容からヘアドネーションを目的にカットして来たことを知る。

ヘアドネーションとは、小児がんや先天性の脱毛症、不慮の事故などで頭髪を失った子供たちのために、寄付された髪の毛でウィッグを作り無償で提供する活動である。(まるごとウィキペディア)

彼女の最高の笑顔に魅了され、昼休みのバックヤードで、その目的に感動したことを伝えて聴いてみた。「今の自分に何かできることをやってみようと思うてやってみたがよ」医療用のウィッグを目的にヘアを提供することは、髪が伸びました、切りましたではない。最低31センチの長さでカットしたものが要望され、腰辺りまでの髪をおよそ

ショートボブにカットした長さになる。ロングヘアの経験があったらわかるが、まめに毛先をカットするなど断然手間がいるわけだ。



その彼女は介護病棟のスタッフ、排泄ケアから入浴の援助は季節関係なく汗だくになる。自宅でも風呂上りにドライヤーで乾かすだけで、また汗だくだったと笑い、「まだちょっとかかるわねえ、がんばりよ!!」と、横に座る同僚にエールを送る。エールを受け「もう、なかなか伸びん。」ロングヘアのスタッフがつつぶやく。

もしやあなたもヘアドネーションと驚く私に、さらにまだ居ると3人目のスタッフの名を聴くことになる。何年も掛けた挑戦、ボランティア精神に思わず拍手したできごと。

介護医療院

### みんなにできる 簡単保護猫への一歩

この寒い朝、猫は車のボンネットに入り込み熟睡グー(=^・^=)

熟睡したらエンジン音だけでは覚めません。



乗車前に「ボンネットを数回トン、トン、トン」とノックして欲しいです。気づけば猫から出て行くでしょう。

起こしてくれてありがとう!

▶しっぽが半分になった猫



西2F

◆壁飾りシリーズ◆



患者様に季節の移り変わりを感じていただけたらと詰所前にスタッフ手作りで飾っています。

### 負けない

図南病院で冷たい風に吹かれながら、陣地を守っているジョロウグモ発見。

がんばるぞ

カ  
ル  
カ  
ル





名前: **にこ**   
 種類: **ネザーランドドワーフ**  
 年齢: **0歳6ヶ月** 性別: **男の子**

**岡本さんちのうさぎ**

Uchinoko Jiman

# うちのうさぎ

どのような対策をとっても脱走するので日々人間と知恵くらべです。  
 甘えたいときには私の周りをぐるぐる周り、手の下に頭を突っ込んできてぐいぐいします。なでてもらうためです。  
 だっこは嫌いで逃げます。甘え上手なツンデレうさぎです。



だっこのキミ〜



脱走完了

やられた



ふふふ...

守りやう



## クリスマス会

町にクリスマスソングの流れる季節。当緩和病棟でも12月21日、恒例のクリスマス会を開催しました。いつもはスタッフのハンドベルの演奏やボランティアの生演奏、高野サンタクロスからの豪華な(?)プレゼント、豪華な(??)ディナーがあり、患者様やご家族、スタッフの笑い声も満載の賑やかな会でしたが、コロナ禍という事で縮小。ディナーから午後のお茶会に変わりました。それでもケーキやコーヒー・紅茶の提供、高野院長に代わり急遽ピンチヒッターを務めた「なんちゃってサンタクロス」からのプレゼントとアットホームな笑顔の溢れる会となりました。特にボランティアの方の生演奏には、患者様・スタッフも感動し、時間を忘れてしまう癒しの時間を頂きました。コロナ終息の気配もなく、今後もクリスマス会を開催できるのか分かりません。今回の小さな会も良いですが、やはり患者様・スタッフだけでなくご家族参加のクリスマス会が開催できることを願っています。



## 壁飾り

介護医療院では、1~2ヶ月に一度東館3階詰所の南側の壁、3階と4階の東側エレベーター前の円柱にその時の季節や行事に合わせて飾りつけを行っています。  
 職員は2ヶ月毎に6つのグループに分かれてアイデアを出し合い、協力して作成しています。他の病棟の患者様も見に来られ、季節のうつろいを感じてくださったら幸いです。

介護医療院



発行 特定医療法人久会  
 編集 久南病院  
 編集長 高野 篤  
 高知市知寄町一五二五  
 電話 0888-813126

